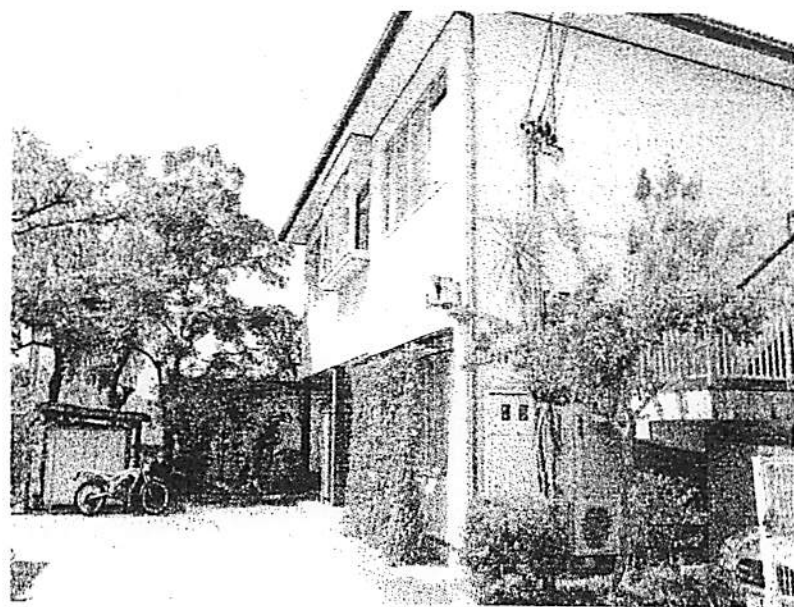


その一歩 未来を創る まちづくり

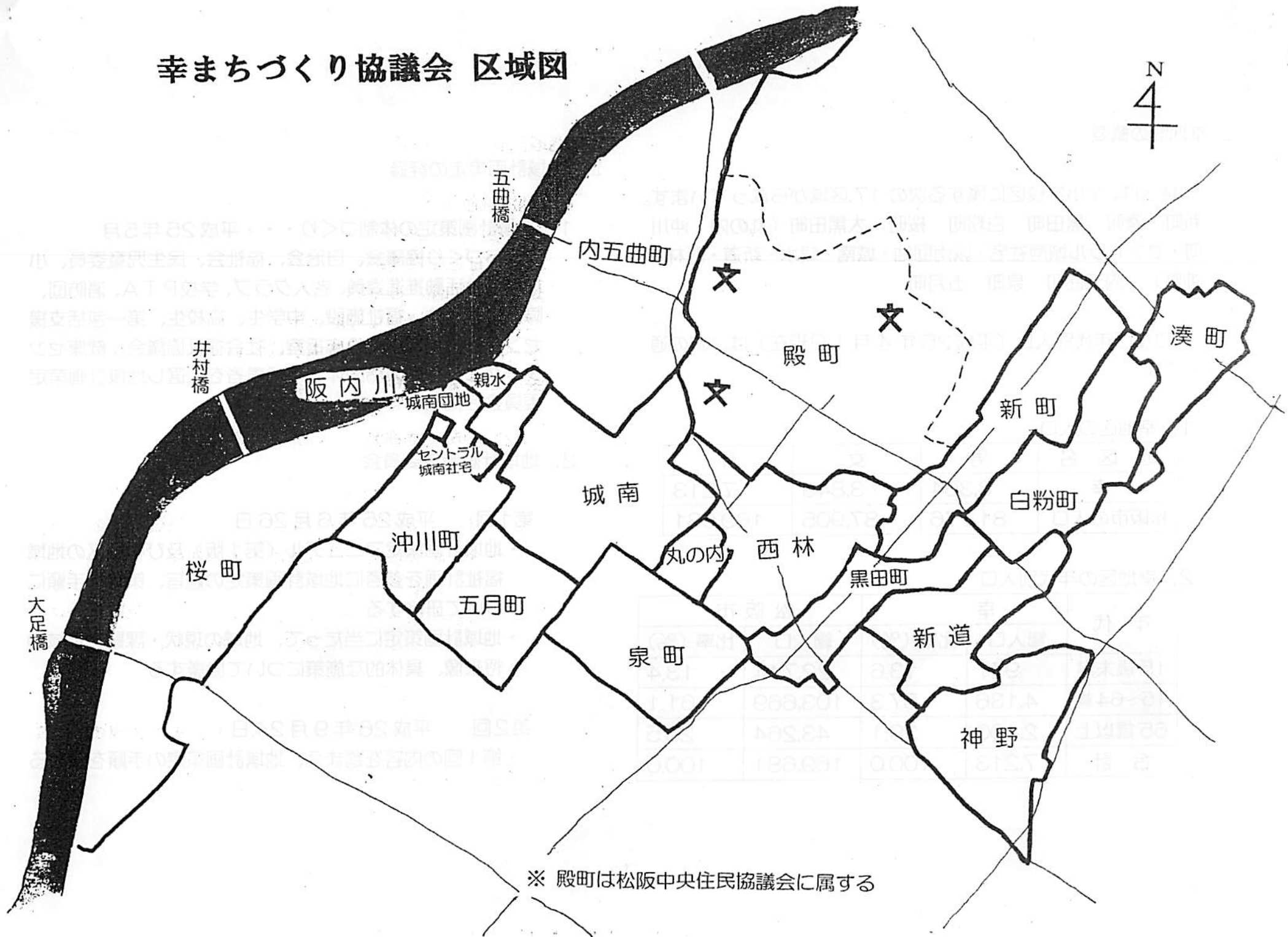
# 幸まちづくり計画書



SAIWAI MACHIZUKURI

平成27年4月 幸まちづくり協議会

# 幸まちづくり協議会 区域図



※ 殿町は松阪中央住民協議会に属する

## I 幸地区の概要

幸地区は、幸小学校区に属する次の17区域から成っています。  
 新町 湊町 黒田町 白粉町 桜町 大黒田町（丸の内・沖川町・セントラル城南社宅・城南団地・城南・親水・新道・西林・神野） 内五曲町 泉町 五月町

人口及び年代別人口（平成25年4月1日現在）は、次の通りです。

### 1. 幸地区の人口

地区名	男	女	計
幸	3,364	3,849	7,213
松阪市の人口	81,776	87,905	169,681

### 2. 幸地区の年代別人口

年代	幸		松阪市	
	総人口	比率(%)	総人口	比率(%)
15歳未満	977	13.6	22,744	13.4
15~64歳	4,136	57.3	103,669	61.1
65歳以上	2,100	29.1	43,264	25.5
合計	7,213	100.0	169,681	100.0

## II 地域計画策定の経過

1. 地域計画策定の体制づくり・・・平成25年5月  
 幸まちづくり協議会、自治会、福祉会、民生児童委員、小地域福祉活動推進委員、老人クラブ、学校PTA、消防団、障がい者団体、福祉施設、中学生、高校生、第一包括支援センター、地域づくり応援室、社会福祉協議会、健康センターなど、地区内諸団体より代表者を選し地域計画策定委員会を編成する

### 2. 地域計画策定委員会

#### 第1回 平成25年6月26日

- ・地域計画策定マニュアル（第1版）及び幸地区の地域福祉計画を参考に地域計画策定の趣旨、策定の手順について研修する
- ・地域計画策定に当たって、地域の現状・課題、地域の将来像、具体的な施策について協議する

#### 第2回 平成26年9月24日

- ・第1回の内容を踏まえ、地域計画策定の手順を決める

第3回 平成 25 年 12 月 18 日

地域の現状・課題を5つに分類し、それぞれの将来像から  
目標を設定する

第4回 平成 26 年 3 月 11 日

地域の現状・課題を踏まえ、「目標：人と人がつながるまち」  
を実現するための具体的な事業と内容を協議する

第5回 平成 26 年 7 月 29 日

- ・地域の現状・課題を踏まえ、「目標：歴史と文化を受け継ぐ  
まち」を実現するための具体的な事業と内容を協議する
- ・地域の現状・課題を踏まえ、「目標：健康・元気・住みよい  
まち」を実現するための具体的な事業と内容を協議する

第6回 平成 26 年 11 月 26 日

- ・地域の現状・課題を踏まえ、「目標：安心・安全なまち」を  
実現するための具体的な事業と内容を協議する
- ・地域の現状・課題を踏まえ、「目標：学びあい高めあうまち」  
を実現するための具体的な事業と内容を協議する

3. 幸まちづくり協議会 役員会 平成 27 年 1 月 14 日

事業の実施主体と事業分類について協議する

幸まちづくり協議会 役員会 平成 27 年 2 月 24 日

幸まちづくり計画書の検討と作成

Ⅲ 幸地区の現状・課題を踏まえた5つの目標

地域の現状・課題	
1	進んであいさつができない
2	世代間の関わりが希薄
3	地域で子どもを育てる
4	コミュニケーション不足
5	高齢者の孤立化 引きこもり
6	支え合いのまちづくり
7	障がい者とのふれあい
8	在日外国人との交流



目標：人と人がつながるまち

地域の現状・課題	
1	地域の伝統行事の継承
2	地域の歴史と文化の継承



目標：歴史と文化を受け継ぐまち

地域の現状・課題	
1	要援護者への対応
2	美しいまちづくり
3	健康なまちづくり
4	急速に進む高齢者対策
5	活気ある商店街づくり



目標：健康・元気・住みよいまち

地域の現状・課題	
1	地域の危険箇所の周知
2	変災時の安全確保
3	交通安全
4	街灯が少なく暗い
5	子どもの安全確保
6	高齢者の見守り
7	防犯 防災 不審者



目標：安心・安全なまち

地域の現状・課題	
1	現代・将来に活かされる生涯学習
2	よりよいまちづくりを進めるクラブ・サークル活動



目標：学びあい高めあうまち

#### IV 地域計画策定委員（所属団体等と名前）

- ・幸まちづくり協議会 伊藤文吾 加藤進一 小林ルリ子  
山本千代子 橋本英一 新良司朗 一色昌子
- ・自治会 中川勇 植村和明 川瀬勉 福祉会 内田茂雄  
福田勝 民生児童委員 藤田シツカ 西田ひで子
- ・小地域福祉活動推進委員 大辻孝昭 津田真 松田美智子
- ・老人クラブ 辻正明 佐久間進 障がい者 深川誠子
- ・幸小学校 片谷慎一 中井和史 西田真代 水本潤一 須田展江
- ・消防団 中世古和彦 山本巧
- ・社会福祉協議会 田中勝 奥田和男 岸部涼
- ・健康センター 城山幸枝 糸川千久佐 園分いずみ
- ・地域づくり応援室 松葉智子
- ・第一包括支援センター 青木浩乃
- ・NPO法人 れいんぼう 大田典由
- ・中学生 宮田裕都 澤田莉乃 太田幸宏 廣真琴
- ・高校生 川村英登 村井翔 梶田善則

## V 地域の現状・課題に即した事業と事業内容

### 目標：人と人がつながるまち

現状・課題	事業名	事業の内容	実施主体			事業分類			備考
			地域	地域行政	行政	継続	新規	検討課題	
1 進んであいさつができない	1 あいさつ運動	早朝、通勤、通学の人に挨拶と交通安全の呼び掛けをする	○			○			
	2 あいさつ運動の標語を考えよう	啓発活動として、あいさつ標語を募集する	○					○	
2 世代間の関わりが希薄	3 園児との集い	さくら・第二保育園児と地域住民との交流(抹茶とお菓子)	○			○			
	4 幸笑顔の会	小学生ボランティア委員(5・6年)と高齢者との交流(ゲーム、昔の遊び)	○			○			
	5 文化祭ふれあいコーナー	文化祭で小学生と地域住民が藍染め体験、カルタ遊びなどで交流	○			○			
	6 昔の遊びで遊ぼう会	缶けり、竹馬など、昔の遊びを通して子どもと高齢者が交流	○					○	
	7 百人一首大会	中学生の百人一首大会に地域住民も参加して交流	○					○	
	8 お年寄りと高校生の学び合い講座	お年よりは高校生に人生経験を語り、お年よりは高校生からiPhoneの使い方などを学ぶ	○					○	
	9 世代間交流スポーツ大会	子どもから高齢者までスポーツを通して交流し、相互理解と親睦を深める	○					○	
3 地域で子どもを育てる	10 子育て支援事業(クッキング教室、リトミックなど)	子育て中の保護者が、地域住民との交流によって、孤立感や不安感を払拭する		○				○	
	11 子どもスポーツ大会	リレーや縄跳びなどのスポーツを通して子ども達の健全育成を図る。	○			○			
	12 認知症キッズサポーター養成講座	小学生が認知症について学び、地域の認知症サポーターの一員となる		○		○			
4 コミュニケーション不足	13 幸サロン	空き家を利用し、食事やレクリエーションなどの楽しい集い	○					○	
	14 ウォークラリー大会	地域の宝探しなど、ウォークラリーによって地域住民のふれあいの輪を広げる	○					○	

目標：人と人がつながるまち

現 状・課 題	事 業 名	事 業 の 内 容	実施主体			事業分類			
			地域	地域 行政	行政	継続	新規	検討 課題	備考
5 高齢者の孤立化 引きこもり	15 長寿を祝う会	70歳以上独居、80歳以上高齢者世帯対象の見守り活動 (長寿の祝い品を贈る)	○			○			
	16 高齢者の見守り訪問 (クリスマス)	70歳以上独居、80歳以上高齢者世帯対象の見守り活動 (クリスマスプレゼントを贈る)	○			○			
	17 高齢者の見守り訪問 (配食サービス)	70歳以上独居、80歳以上高齢者世帯対象の見守り活動 (小学生の手紙を添えて配食)	○			○			
	18 高齢者「いこいの広場」	65歳以上の高齢者対象にレクリエーションや昼食会など の楽しい交流会	○			○			
	19 高齢者「いきいきサロン」	手づくり教室、ゲーム、茶話会など、高齢者の生きがいづ くりと交流	○						○
	20 お宅訪問「お元気ですか」	子どもたち(子ども会)が高齢者宅を訪問し交流する	○						○
	21 お隣さん声かけ運動	孤独死を出さない見守り活動として、一日一回近隣相互の 声かけ運動	○						○
	22 高齢者から学ぶ会	高齢者から昔のオモチャや手料理などを教えてもらう	○						○
	23 幸の街コン	高齢者の生きがいづくりと商店街の活性化	○			○			
6 支え合いの まちづくり	24 幸お助け隊	お助けグループを立ち上げ、重い物の移動、電球の交換、 小さい庭木の手入れなど、日常生活の小さな手助け	○						○
	25 ヘルプポスト	相談事を用紙に書いてポストに入れてもらい、近所の人同 士で助け合う	○						○
	26 巡回マイクロバス	買い物や通院に支障のある人のために、巡回マイクロバス を運行する		○					○
7 障がい者との ふれ合い	27 手話を学びましょう	手話を障がい者から学ぶ 覚えた手話を歌に振付、行事で 発表	○						○
	28 「障がい」について考えよう	レクリエーションを通じて、障がい者と交流したり、「障 がい」についての講演会を開催する	○						○
8 在日外国人 との交流	29	外国の文化を通して、外国人との交流を図る		○					○
	30 在日外国人との交流事業	日本独特のミカンがりや潮干狩りなどのレクリエーション で		○					○
	31								

目標：歴史と文化を受け継ぐまち

現 状・課 題			事 業 名	事 業 の 内 容	実施主体			事業分類			備考
					地域	地域 行政	行政	継続	新規	検討 課題	
1	地域の伝統行事 の継承	1	子ども神輿	7月の祇園祭に地域の数か所にて実施	○			○			
		2	山の神祭り	秋頃、子どもの祭りとして、地域の数か所にて実施	○			○			
		3	盆踊り	盆踊り大会	○			○			
		4	ひな祭り茶会（公民館）	演奏会 生花コンクール 茶会	○			○			
		5	幸ふるさと祭り	幸独自の「幸まつり」を企画（内容未定）	○					○	
2	地域の歴史と文化 の継承	6	知っていますか 幸地区の歴史と文化	小学校教育の中に地域の歴史と文化について学ぶ時間を設ける	○			○			
		7	昔の遊びで遊ぼう会	高齢者から子ども達へ、缶けり、竹馬、コマ回しなど昔の遊びの伝承	○					○	
		8	おばあさんの知恵袋	高齢者から若年層へ日常生活に役立つ事柄（伝統料理、昔のお菓子）の伝承	○					○	
		9	公民館文化祭	書画 写真 手芸 俳句などの作品展と茶会	○			○			
		10	ふるさとを再発見しませんか	幸地区の文化財や歴史上の人物について、フィールドワークや講演会を実施	○			○			



目標：健康・元気・住みよいまち

現 状・課 題		事 業 名	事 業 の 内 容	実施主体			事業分類			備考
				地域	地域 行政	行政	継続	新規	検討 課題	
1	要援護者への対応	1 要援護者の見守り隊	要援護者のカルテの作成と見守り活動	○					○	
		2 ふれあいサロン	自治会単位でサロン活動 (対象は高齢者・児童・障がい者)	○					○	
		3 福祉マップづくり	高齢者や障がい者など基礎データの収集とデータ分析 (毎年更新)	○					○	
2	美しいまちづくり	4 クリーンウォーキング	河岸や道路などの定期的清掃活動 クリーンアップ競争の実施	○					○	
		5 不法投棄はやめましょう	防犯カメラの設置と見回り活動		○				○	
		6 幸地区ビューティスポット	ダーティスポットも含めて紹介し、美化運動につなげる	○					○	
		7 空き地の美化運動	空き地の所有者に美化を依頼するが、できることは地域住民も協力する	○					○	
3	健康なまちづくり	8 健康ウォーキング	ウォーキングの効能と健康づくりを考え、ウォーキングを実施	○			○			
		9 いきいき体操	健康づくりのため、ケアピクス(介護予防に役立つ体操)を実施	○			○			
		10 幸歩こう会	健康づくりとして、定期的にウォーキング	○					○	
		11 魚で健康づくり	食物(魚)の知識を増やし食生活に活かす	○					○	
		12 癌検診受診率50%のまちづくり	癌予防と癌の早期発見のため、年に一度、地域で健康診断を実施する(現在の受診率20%程度)		○				○	
		13 健康相談会	血圧測定 体脂肪測定 乳がん予防など健康についての相談		○		○			
		14 健康料理教室	食生活改善指導員により月1回の調理実習	○			○			
		15 地区体育祭	健康増進と世代間交流による絆づくり	○			○			
		16 グラウンド・ゴルフ大会	健康増進と相互交流による親睦	○			○			
		17 ラジオ体操や太極拳をしよう	各地区で定期的に実施する	○					○	

目標：健康・元気・住みよいまち

現 状 ・ 課 題			事 業 名	事 業 の 内 容	実施主体			事業分類			備考
					地域	地域 行政	行政	継続	新規	検討 課題	
4	急速に進む 高齢者対策	18	各町敬老事業	敬老事業推進特別交付金による各自治会の敬老事業	○			○			
5	活気ある商店街 づくり	19	「幸の餅」もちまき	「商いざくら」の開花を愛でて商店街の活性化を図る	○			○			
		20	商店街活性化イベント作戦	ダンスや音楽のイベント、高校生の出店などで商店街の活性化を図る		○				○	

目標：安心・安全なまち

現 状・課 題			事 業 名	事 業 の 内 容	実施主体			事業分類			
					地域	地域 行政	行政	継続	新規	検討 課題	備考
1	地域の危険個所の周知	1	タウン・ウォッチング	危険個所をチェック、美しく整っている個所もチェック (毎年実施)	○					○	
		2	通学路点検	小中学生の通学路点検	○					○	
2	変災時の安全確保	3	ハザードマップの作成	避難経路、避難場所、消火栓、冠水箇所等を地図上に示す	○			○			
		4	災害時住民支援マップ	高齢者や障がい者の確認と支援体制の確立	○					○	
		5	防災先進地の視察	防災安全についての学習会	○			○			
		6	幸地区自主防災隊の防災訓練	放水訓練 防災器具の点検 AEDの取り扱い 被災者の救助訓練 等	○			○			
		7	〇〇町防災訓練 (防災計画の作成を含む)	要介護者、障がい者の救助も含め、変災時の対応を計画し訓練する	○					○	
3	交通安全	8	交通安全教室の開設	交通マナーや法規の遵守など、交通安全教育の実施	○					○	
		9	「ゾーン30」道づくり	安心安全な街づくり 歩いて楽しい街づくり 道路インフラの整備計画		○		○			
4	街灯が少なく暗い	10	必要な街灯設置個所のチェック	必要個所への街灯の設置 昼間は消灯する対策	○			○			
5	子ども安全確保	11	地域パトロール隊による見守り	交通ルールの遵守など子どもたちの登下校の安全確保	○					○	
		12	道路標識や横断歩道の点検	必要な道路標識や歩道、横断など、交通安全面での点検	○					○	

目標：安心・安全なまち

現 状・課 題			事 業 名	事 業 の 内 容	実施主体			事業分類			備考
					地域	地域 行政	行政	継続	新規	検討 課題	
6	高齢者の見守り	13	高齢者安心お助けマップの作成	高齢者の確認と定期的な見守り	○					○	
7	防犯 防災 不審者	14	防犯防災パトロール隊	パトロール隊による定期的な地区内のパトロール 問題個所の重点パトロール	○					○	
		15	緊急時即応体制づくり	緊急時、地域、学校、家庭、行政、警察が速やかに対応できる体制をつくる		○				○	

目標：学びあい高めあうまち

現 状・課 題			事 業 名	事 業 の 内 容	実施主体			事業分類			備考
					地域	地域 行政	行政	継続	新規	検討 課題	
1	現代・将来に活かされる生涯学習	1	介護に備えて学びましょう	介護予防について、シニア世代の健康づくり		○				○	
		2	認知症予防勉強会	認知症予防の知識やポイント等の学習		○				○	
		3	高齢者マネーセミナー	悪質商法、年金相続など高齢者のためのセミナー		○				○	
		4	男性のための料理教室	食生活改善、調理実習など男性のための料理教室	○			○			
		5	女性学級	一般教養、趣味、健康、福祉、経済など年間計画に従い学習	○			○			
2	よりよいまちづくりを進めるクラブサークル活動	6	みんなで歌おう楽しく元気に	合唱を通して、気力や連帯意識の高揚を図る	○			○			

幸まちづくり協議会

設立年月日 平成24年3月25日

〒515-0073 松阪市 殿町1198-2

TEL 0598-23-9549

FAX 0598-23-2264

URL [mk3181@mctv.ne.jp](mailto:mk3181@mctv.ne.jp)